

科目名 小児看護学概論	授業担当者 秋山 祥子	所属 中通高等看護学院	
開講時期:前期～中期	単位数:1 単位	時間数:30 時間	
授業の目的 子どもを一人の権利を有する存在として捉え、多様化する地域社会の中で、子どもと家族が健やかに成長発達をしていくための支援について学ぶ。			
授業の概要 子どもの看護では「子どもを知る」ことがとても大事です。しかし、少子化や子どもの生活の変化から、日常生活の中で子どもと接する機会は少なく、その特徴や子どもの生活の様子を具体的にイメージするのは難しい現状にあります。この科目では「子ども」が成長発達していく存在であることを捉えます。また、子どもだけではなくその家族も大切な存在であり、看護の対象であることを学びます。さらに、現代社会の諸問題や家庭環境が子ども・家族に及ぼす影響を知り、その子らしく健やかに成長発達していくための権利や制度および支援を学びます。 また講義以外にも「子ども各期の成長発達の特徴と支援」をテーマに、個人ワークやグループ交流に取組みます。プレゼンテーションを通し、各期の子どもを多角的にイメージできるようになることを目指します。この取組の成果が、続小児看護援助論Ⅰ・Ⅱで活用されることを期待します。			
受講上の注意・事前学習の内容 5・6・7・10・12・14・15 回目は、子ども各期の成長発達と支援をテーマにワークをする。※詳細は授業の中でガイダンスする。			
授業回数	学習内容	方法	備考
1	小児看護の目指すところ	講義	
2	子どもと家族(諸統計・行政施策など)	講義	
3	子どもの人権と看護	講義	
4	子どもの成長発達の原則 発育・発達の評価	講義	
5	子ども各期の成長発達と支援	個人ワーク	
6	子ども各期の成長発達と支援	個人ワーク	
7	子ども各期の成長発達と支援	個人ワーク	
8	子どもの栄養	講義	
9	子どもの栄養	講義	
10	子ども各期の成長発達と支援	個人ワーク	
11	予防接種 学校保健	講義	
12	子ども各期の成長発達と支援	個人ワーク	
13	子どもと家族を取り巻く諸問題(児童虐待・いじめ・不登校等)	講義	
14	子ども各期の成長発達と支援	グループワーク	
15	子ども各期の成長発達と支援 まとめ	グループワーク	
テキスト 系統看護学講座 専門 小児看護学概論 小児臨床看護総論 医学書院 系統看護学講座 専門 小児臨床看護各論 医学書院			
参考書・指定図書 随時、授業に関係があるものを紹介する。			
評価の方法 2～4・8・9・11・13 回目の小テスト 60% ※原則、ミニテストはその講義の次の時間で行う 個人ワーク(ルーブリックでの評価)40%			

*この科目は実務経験のある教員による科目となります